

建物及び設備における主な石綿使用状況

2023年3月末現在

対象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）	
吹付け石綿	設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用。	・すべての使用箇所について飛散防止対策済。	・定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認。	
石綿含有製品	建 材	建物の耐火ボード、床材等に使用	<ul style="list-style-type: none"> 成形品であり、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。 成形品であり、加えて碍子内部に封入されており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。 油性材料（防食グリース）と一体化しており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。 	
	防音材	変圧器防音材（変電設備、水力発電設備）		・ 77台
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備、配電設備）		・ こう長：約180km
	保温材	発電設備（原子力設備、火力設備）		・ 約5.9万m ³
	シール材 ・ ジョイントシート	発電設備（原子力設備、火力設備）		・ 約48万個
	緩衝材	懸垂碍子（送電設備）		・ 約138.5万個（碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。）
	増粘剤	架空線用の電線（送電設備）		・ 電線防食剤：こう長約81.9km

（注）火力設備には、地熱発電設備および内燃力発電設備を含む。